

明治大学の小林さんと菊地さん 広島で学んだ平和への思い伝える 福生市

戦後80年平和サミット

多摩市のパルテノン多摩で15日(日)、多摩地域26市在住の大学生や高校生が参加して「平和のメッセージ」を伝える「戦後80年平和サミット」(平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク主催)が開かれる。同サミットに福生市から参加する菊地凌太さん(20、明治大学3年)と小林葵さん(21、明治大学3年)が3日、福生市役所を表敬訪問し、これまでの活動や当日への思いを加藤育男市長に伝えた。写真。

業として広島市を訪問。サミットでは事業の成果報告となる「平和メッセージ」を26市の市長に発表し、トークセッションなどを実施する。

平和サミットは戦後80周年事業の一環として、多摩地域26市在住の大学生と高校生26人が平和ユースとして選ばれ、事前研修を経て、2025年8月に多摩地域平和ユース研修事業として広島市を訪問。サミットでは事業の成果報告となる「平和メッセージ」を26市の市長に発表し、トークセッションなどを実施する。

表敬訪問した菊地さんは明治大学文学部に在籍、小林さんは明治大学理工学部在籍の学生。福生市出身。平和ユースの活動について菊地さん



また、菊地さんは「平和に関する学習は、こっちで教育だけ受けても実感できないものが多く、広島で被爆体験を聞き、被爆の惨状を目の当たりにして学べる実感があった」とした。小林さんは「広島や長崎の原爆に関する話は歴史の授

けだ」と話した。小林さんは「私は教育グループに所属し、広島での平和教育を現地の高校生にいろいろと現状を聞いて、それを教育と比較し、新たな教育モデルの提案をしたい」と意気込みを語った。

また、菊地さんは「平和に関する学習は、こっちで教育だけ受けても実感できないものが多く、広島で被爆体験を聞き、被爆の惨状を目の当たりにして学べる実感があった」とした。小林さんは「広島や長崎の原爆に関する話は歴史の授

けだ」と話した。小林さんは「私は教育グループに所属し、広島での平和教育を現地の高校生にいろいろと現状を聞いて、それを教育と比較し、新たな教育モデルの提案をしたい」と意気込みを語った。

また、菊地さんは「平和に関する学習は、こっちで教育だけ受けても実感できないものが多く、広島で被爆体験を聞き、被爆の惨状を目の当たりにして学べる実感があった」とした。小林さんは「広島や長崎の原爆に関する話は歴史の授

また、菊地さんは「平和に関する学習は、こっちで教育だけ受けても実感できないものが多く、広島で被爆体験を聞き、被爆の惨状を目の当たりにして学べる実感があった」とした。小林さんは「広島や長崎の原爆に関する話は歴史の授

また、菊地さんは「平和に関する学習は、こっちで教育だけ受けても実感できないものが多く、広島で被爆体験を聞き、被爆の惨状を目の当たりにして学べる実感があった」とした。小林さんは「広島や長崎の原爆に関する話は歴史の授